



交通政策について

令和7年2月
県土整備局

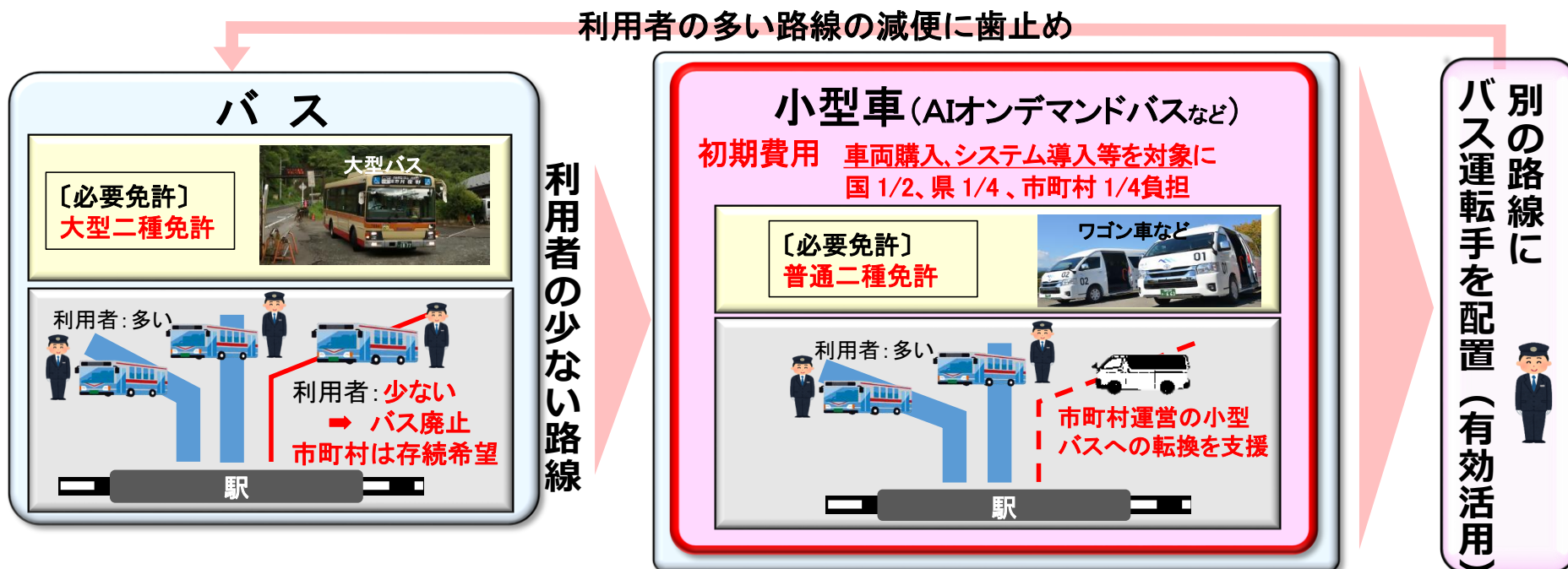
■ 地域公共交通の確保 — 既存バス運転手の有効活用 —

【令和7年度 新規】

- 大型二種免許を必要とするバスから、**普通二種免許等**で**運転可能な小型車**を用いた交通サービスへの転換に必要な**初期費用を補助**

＜負担割合＞ 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4

＜補助対象者＞ 市町村



■ 地域公共交通の確保 — 新規バス運転手の確保 —

【令和7年度 新規】

- 若年者や外国人等の新規バス運転手を確保するため、
県内乗合バス事業者に対して、運転手の特例教習受講費用
を補助

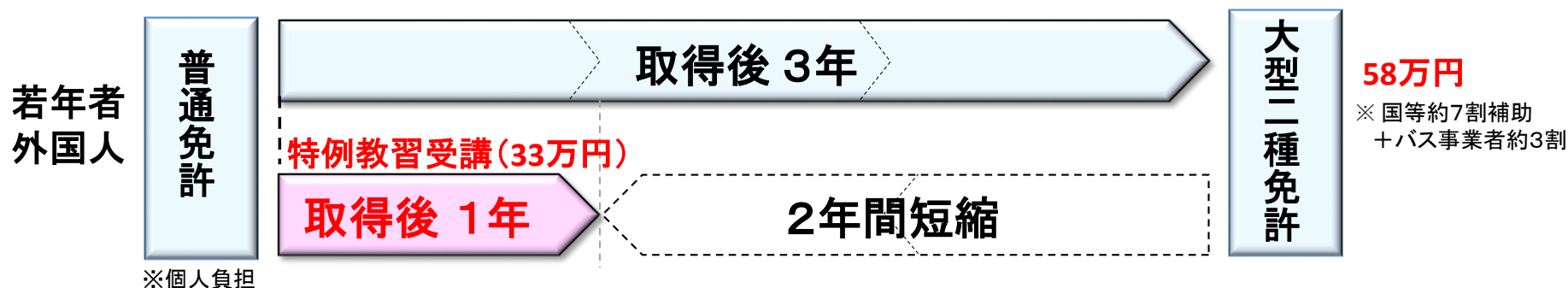
＜負担割合＞ 国 1/2、県 1/4、事業者 1/4

＜補助対象者＞ 乗合バス事業者

特例教習制度の活用を促進

バス運転手確保のためには、若年者や外国人の活用が必要で、特例教習による大型二種免許取得期間の短縮が有効

→ 県が特例教習受講費用の一部を補助し、バス事業者に制度活用を促進

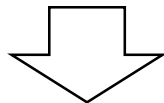


■ 新たな交通システムの展開 — 神奈川版ライドシェアの県内への展開 —

＜三浦市域における実証実験の結果＞

- ・ 実証実験期間中に**900回を超える運行がある中、**
タクシー会社と連携した安全対策により、**事故やトラブルなし**
- ・ **アプリ配車のマッチング率は前年同期と比べ約20ポイント向上**
- ・ **利用者の96%が、再度の利用意向あり**

- **神奈川版ライドシェアは、有効な交通手段**
- **実施を希望する市町村に対し、実証実験で得られたノウハウを提供するなど、一緒になって検討**

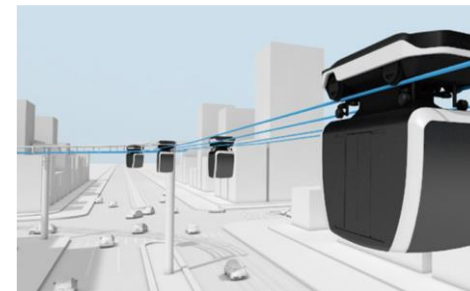


- **現在、全市町村に導入意向調査を実施中**



■ 新たな交通システムの展開 ― 自走式ロープウェイの導入検討 ―

- 都市型交通として利用が期待される
自走式ロープウェイについて、
導入適地に係る技術的研究を進めるため、
藤沢市、三浦市、厚木市と研究会を設置し、
ルート検討及び需要予測調査を実施



区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
事業 スケジュール	・連携協定締結 ・市町村ニーズ調査 ⇒3市を選定 ・県、Zip社と勉強会設置	・県・3市と研究会を設置 ・ルート検討・需要予測調査	・採算性検討調査	Zip社、市町村 が主体となって、 社会実装を 検討
Zip社による福島 実験線の行程	・柱や基礎など 土木構造物の建設	・ゴンドラを動かして、 実験データの蓄積	・安全性等に関する 国の認証取得	

■ 新たな交通システムの展開 — 自動運転バスの導入検討 —

- 県は、バスの減便が顕著で、かつ**自動運転バスの実証実験の実績がない県西地域において**、自動運転バスの導入を進めるため、2市8町に対して**導入意向調査を実施**
- **小田原市をフィールドとし**、2市5町とともに令和6年12月に**研究会を設置**
- 実用化を目指し、**実証実験の実施に向けて調整を進めていく**

<県西地域自動運転バス導入研究会のメンバー>

神奈川県
小田原市
神奈川県バス協会
神奈川県タクシー協会 等

その他、県西地域1市5町がオブザーバー参加



茨城県境町での自動運転

■ 新たな交通システムの展開 — 海上交通の新規航路開拓 —

○ 海上交通を大磯以西に広げるため、クルージングツアーの実証実験を継続

事業スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
	・基礎調査、漁業関係者と調整 ・クルージングツアーを2本実施	・採算性検証、漁業関係者・運航事業者と調整 ・クルージングツアーを5本程度実施	・運航事業者による自走化



■あじ・地魚まつりに合わせた小田原モニターツアー(R 6. 10)

